

この度、内閣官房長官・沖縄開発庁長官を拝命いたしました福田康夫大臣です。沖縄をめぐる諸問題は、引き続き重要課題であり、沖縄担当大臣の職責と併せ、沖縄対策を総合的、一体的に推進する任を担当いたしました。沖縄県にとって二十一世紀の新たな発展の基盤を築く極めて重要なこの時期に、沖縄開発庁長官の職を今回私が担つこととなりたわけであり、その責任の重さを痛感してこの次第であります。

沖縄が昭和四十七年五月に本土復帰して以来、政府は三次にわたる振興開発計画を策定し、これに基づきまして総額六兆円を超える国費を投入し、各般の施策を積極的に講じてまいりました。その結果、県民の皆様のたゆまぬ御努力と相まって、社会資本の整備は大きく前進し、沖縄の経済社会は総体として着実に発展してきたといふことがあります。

しかしながら、沖縄には、今なお広大な米軍施設・区域が存在するとともに、交通の円滑化、水の確保、街づくり、環境衛生など様々な分野で整備をするものがみられ、さらには、産業振興の問題、雇用の問題など今まで解決しなければならない多くの課題を抱えています。

この度、内閣官房長官・沖縄開発

要課題として、その解決に全力を挙げて取り組む方針であります。

沖縄開発庁といたしましては、引き続き、第二次沖縄振興開発計画を着実に推進し、観光リゾート関連産業をはじめとする沖縄の特性を生かした産業の振興、我が国の南の国際交流拠点の形成に努めています。

とともに、平成十三年度末で期限を迎える現行計画後の振興開発の進め方としての、わゆる「ポスト三次振興計画」で、新たな時代に向けた法制の在り方も含め精力的に検討してまいります。また、特に、昨年十一月に閣議決定された「普天間飛行場の移設に係る政府方針」に基づき、移設先及び周辺地域を含む沖縄県北部地域の振興並びに駐留軍用地跡地利用の促進及び円滑化等の重要課題に尽力してまいります。

また、本年七月、沖縄においてサントリーハーモニーが開催されました。その成功により、沖縄が世界に発信され、大きな関心を集めました。これは、沖縄の発展に計り知れないプラスの影響を与えるものと考えており、沖縄開発庁といたしましても、引き続き国際会議を誘致するなど、我が国の中の国際交流拠点の形成を目指し、今後とも、サミット開催の成果の積極的な活用に努めてまいります。

この度、内閣官房長官・沖縄開発

廳長官を拝命いたしました福田康夫大臣です。沖縄をめぐる諸問題は、引き続き重要課題であり、沖縄担当大臣の職責と併せ、沖縄対策を総合的、一体的に推進する任を担当いたしました。沖縄県にとって二十一世紀の新たな発展の基盤を築く極めて重要なこの時期に、沖縄開発庁長官の職を今回私が担つこととなりたわけであり、その責任の重さを痛感してこの次第であります。

沖縄開発庁といたしましては、引き続き、第二次沖縄振興開発計画を着実に推進し、観光リゾート関連産業をはじめとする沖縄の特性を生かした産業の振興、我が国の南の国際交流拠点の形成に努めています。

とともに、平成十三年度末で期限を迎える現行計画後の振興開発の進め方としての、わゆる「ポスト三次振興計画」で、新たな時代に向けた法制の在り方も含め精力的に検討してまいります。また、特に、昨年十一月に閣議決定された「普天間飛行場の移設に係る政府方針」に基づき、移設先及び周辺地域を含む沖縄県北部地域の振興並びに駐留軍用地跡地利用の促進及び円滑化等の重要課題に尽力してまいります。

また、本年七月、沖縄においてサントリーハーモニーが開催されました。その成功により、沖縄が世界に発信され、大きな関心を集めました。これは、沖縄の発展に計り知れないプラスの影響を与えるものと考えており、沖縄開発庁といたしましても、引き続き国際会議を誘致するなど、我が国の中の国際交流拠点の形成を目指し、今後とも、サミット開催の成果の積極的な活用に努めてまいります。

この度、内閣官房長官・沖縄開発

廳長官を拝命いたしました福田康夫大臣です。沖縄をめぐる諸問題は、引き続き重要課題であり、沖縄担当大臣の職責と併せ、沖縄対策を総合的、一体的に推進する任を担当いたしました。沖縄県にとって二十一世紀の新たな発展の基盤を築く極めて重要なこの時期に、沖縄開発庁長官の職を今回私が担つこととなりたわけであり、その責任の重さを痛感してこの次第であります。